

受 験 番 号

数 学

(100点 60分)

(2019年度 A - 1)

注 意 事 項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の表紙の受験番号欄に受験番号を書いてください。
複数の受験番号がある場合、受験票に記載されているメイン受験番号を記入してください。
- 3 この問題冊子は表紙を除き、9ページです。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 不正行為について
 - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

～ 選択問題の注意 ～

設問は、全部で第1問から第6問まであります。

第1問から第3問は必答問題で、第4問（数学A 場合の数と確率）、第5問（数学A 図形の性質）、第6問（数学A 整数の性質）は選択問題です。選択問題は3問あるうちの2問を必ず選択してください。

～ 解答用紙記入上の注意 ～

- (1) 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、正しく記入してください。
 - ① 氏 名 欄 漢字氏名を記入してください。
 - ② 科 目 名 欄 「数学」と記入してください。
 - ③ 受 験 番 号 欄 受験票に記載されているメイン受験番号を記入し、その下のマーク欄に、正しくマークしてください。
 - ④ 選 択 問 題 欄 選択する問題番号を2つマークしてください。マークがない、または3つマークがある場合は選択問題の解答は無効となります。
- (2) 受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- (3) 解答は、1ページの解答上の注意をよく読み、解答用紙の解答マーク欄にマークしてください。
解答マーク欄に複数のマークをすると、不正解になります。訂正するときは消しゴムできれいに消して、書き直してください。

数 学

解答上の注意

- 1 問題の文中の $\langle 1 \rangle$, $\langle 2 \rangle \langle 3 \rangle$ などには、特に指示がないかぎり、数字(0~9)、符号(-, ±)が入ります。 $\langle 1 \rangle, \langle 2 \rangle, \langle 3 \rangle, \dots$ の一つ一つは、これらのいずれか一つに対応します。それらを解答用紙の1, 2, 3, ... で示された解答欄にマークして答えなさい。

例1 $\langle 1 \rangle \langle 2 \rangle \langle 3 \rangle$ に-82と答えたいとき

1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	●	±
2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	●	⑨	⑩	-	±
3	①	●	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	-	±

- 2 分数形で解答する場合は、既約分数(それ以上約分できない分数)で答えなさい。符号は分子につけ、分母につけてはいけません。

例2 $\frac{\langle 4 \rangle \langle 5 \rangle}{\langle 6 \rangle}$ に $-\frac{4}{5}$ と答えたいときは、 $\frac{-4}{5}$ として

4	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	●	±
5	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	-	±
6	①	②	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	-	±

- 3 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えなさい。

例えば、 $\langle 7 \rangle \sqrt{\langle 8 \rangle}$, $\sqrt{\frac{\langle 9 \rangle \langle 10 \rangle}{\langle 11 \rangle}}$ に $4\sqrt{2}$, $\frac{\sqrt{13}}{2}$ と答えるところを、 $2\sqrt{8}$, $\frac{\sqrt{52}}{4}$ のように答え

てはいけません。

第1問 (必答問題) (数学 I)

(1) $x = \frac{\sqrt{5} + \sqrt{3}}{\sqrt{5} - \sqrt{3}}, y = \frac{\sqrt{5} - \sqrt{3}}{\sqrt{5} + \sqrt{3}}$ のとき,

$$x + y = \boxed{\langle 1 \rangle}, \quad x - y = \boxed{\langle 2 \rangle} \sqrt{\boxed{\langle 3 \rangle} \boxed{\langle 4 \rangle}}, \quad \frac{x}{y} - \frac{y}{x} = \boxed{\langle 5 \rangle} \boxed{\langle 6 \rangle} \sqrt{\boxed{\langle 7 \rangle} \boxed{\langle 8 \rangle}}$$

である。

(2) $45^\circ < \theta < 90^\circ$ とする。 $\sin \theta \cos \theta = \frac{1}{4}$ のとき,

$$(\sin \theta + \cos \theta)^2 = \frac{\boxed{\langle 9 \rangle}}{\boxed{\langle 10 \rangle}}, \quad (\sin \theta - \cos \theta)^2 = \frac{\boxed{\langle 11 \rangle}}{\boxed{\langle 12 \rangle}}$$

であり,

$$\cos \theta = \frac{\sqrt{\boxed{\langle 13 \rangle}} - \sqrt{\boxed{\langle 14 \rangle}}}{\boxed{\langle 15 \rangle}}, \quad \tan \theta = \boxed{\langle 16 \rangle} + \sqrt{\boxed{\langle 17 \rangle}}$$

である。

第2問 (必答問題) (数学 I)

(1) 関数 $f(x) = x^2 + 2ax + 2a + 6$ がある。ただし, a は実数の定数である。 x がすべての実数をとるときの $f(x)$ の最小値を m とする。

(i) m を a を用いて表すと

$$m = \boxed{\langle 18 \rangle} a^2 + \boxed{\langle 19 \rangle} a + \boxed{\langle 20 \rangle}$$

となる。

(ii) a が $6 \leq a^2 - a \leq 12$ を満たすとき, m の最大値は $\boxed{\langle 21 \rangle}$, 最小値は $\boxed{\langle 22 \rangle} \boxed{\langle 23 \rangle}$ である。

(2) x の方程式 $|x| = x^2 - 3x + c \cdots \cdots (*)$ がある。ただし, c は実数の定数である。

(i) $x = 5$ が $(*)$ の1つの解のとき, $c = \boxed{\langle 24 \rangle} \boxed{\langle 25 \rangle}$ であり $x = \boxed{\langle 26 \rangle} - \sqrt{\boxed{\langle 27 \rangle}}$ も $(*)$ の解である。

(ii) $(*)$ が負の解をもつような c の値の範囲は $c < \boxed{\langle 28 \rangle}$ である。

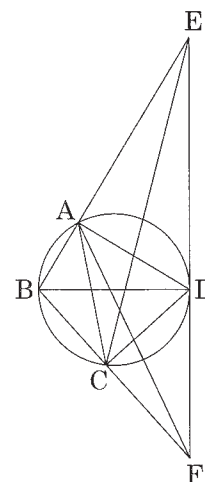
(計 算 用 紙)

第3問 (必答問題) (数学 I)

BD を直径とする円に内接する四角形 ABCD があり、

$$AB=3, BC=4, BD=6$$

である。D を通り BD に垂直な直線と辺 BA の延長および辺 BC の延長との交点をそれぞれ E, F とする。



(1) $\sin \angle CBD = \frac{\sqrt{\langle 29 \rangle}}{\langle 30 \rangle}$ であり, $BF = \langle 31 \rangle$,

$EF = \langle 32 \rangle \left(\langle 33 \rangle \sqrt{\langle 34 \rangle} + \sqrt{\langle 35 \rangle} \right)$ である。

(2) $CE = \langle 36 \rangle \left(\sqrt{30} + \sqrt{\langle 37 \rangle} \right)$, $AC = \langle 38 \rangle \sqrt{\langle 39 \rangle} + \sqrt{\langle 40 \rangle}$ である。

(3) 2つの三角形 ACE, ACF の面積の比は $\langle 41 \rangle \langle 42 \rangle : 5$ である。

第4問 (選択問題) (数学 A 場合の数と確率)

A, B の2人がそれぞれ硬貨を1枚ずつ投げ、表と裏が出たら表を出した方が勝ち、どちらも表かどちらも裏のときは引き分けとする。このゲームを繰り返し行い、先に3勝した方を優勝者とする。ただし、硬貨の表が出る確率と裏が出る確率はいずれも $\frac{1}{2}$ とする。

(1) 1回のゲームで引き分ける確率は $\frac{\langle 43 \rangle}{\langle 44 \rangle}$ である。

(2) ゲームを3回行ったとき、Aが3勝する確率は $\frac{\langle 45 \rangle}{\langle 46 \rangle \langle 47 \rangle}$ であり、Aが2勝1敗となる確率は

$\frac{\langle 48 \rangle}{\langle 49 \rangle \langle 50 \rangle}$ である。

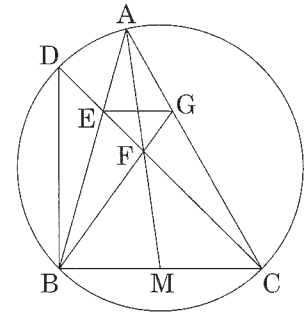
(3) ゲームを4回行ってAの優勝が決まる確率は $\frac{\langle 51 \rangle}{\langle 52 \rangle \langle 53 \rangle \langle 54 \rangle}$ である。また、ゲームを4回行ってA

の優勝が決まったとき、1回目のゲームでAが勝っていた条件付き確率は $\frac{\langle 55 \rangle}{\langle 56 \rangle}$ である。

(計 算 用 紙)

第5問 (選択問題) (数学A 図形の性質)

3辺の長さが $AB=\sqrt{6}$, $BC=2$, $CA=\sqrt{3}+1$ の三角形ABCがあり、
 外接円の1つの直径CDと辺ABとの交点をEとする。



(1) $\cos \angle BAC = \frac{\sqrt{\langle 57 \rangle}}{\langle 58 \rangle}$ であり, $CD = \langle 59 \rangle \sqrt{\langle 60 \rangle}$.

$BD = \langle 61 \rangle$ である。

(2) $AE = xAB$, $DE = yDC$ とおく。2つの三角形ACE, DBEが相似であることから、関係式

$$\frac{y}{x} = \frac{\langle 62 \rangle - \sqrt{\langle 63 \rangle}}{\langle 64 \rangle}, \quad \frac{1-y}{1-x} = \frac{\langle 65 \rangle + \sqrt{\langle 66 \rangle}}{\langle 67 \rangle}$$

が得られ, $x = \frac{\langle 68 \rangle}{\langle 69 \rangle}$ である。

(3) BCの中点をMとする。AMとCDの交点をFとし、BFの延長とACの交点をGとすると、

$$\frac{AF}{FM} = \langle 70 \rangle, \quad \frac{AG}{GC} = \frac{\langle 71 \rangle}{\langle 72 \rangle}$$

であり, $EG = \frac{\langle 73 \rangle}{\langle 74 \rangle}$ である。

(計 算 用 紙)

第6問（選択問題）（数学A 整数の性質）

x, y についての1次不定方程式

$$3x - 8y = 5 \cdots \cdots (*)$$

がある。

(1) $x = \boxed{75}$, $y = \boxed{76}$ は(*)を満たす。(*)は

$$\boxed{77} (x - \boxed{78}) = \boxed{79} (y - \boxed{80})$$

と変形できて、(*)の整数解は整数 k を用いて

$$x = \boxed{81}k + \boxed{82}, y = \boxed{83}k + \boxed{84}$$

と表せる。

(2) (1)の整数解 x, y について

$$x = \boxed{85}y + \boxed{86}k + \boxed{87}$$

が成り立つ。ただし、 $\boxed{85} > 1$, $\boxed{86} > 0$ とする。

x を y で割った余りが99になるような正の整数 x, y は

$$x = \boxed{88} \boxed{89} \boxed{90}, y = \boxed{91} \boxed{92} \boxed{93}$$

である。

(3) (*)の整数解 x, y のうち、 x と y がともに5の倍数となるものは、整数 l を用いて

$$x = 5 (\boxed{94}l + \boxed{95}), y = 5 (\boxed{96}l + \boxed{97})$$

と表せる。

(計 算 用 紙)

